

## 【第 87 回新制作展】五十嵐画伯の入選作品鑑賞会のご報告

猪狩（記）2024 年 9 月 25 日

日 時：2024 年(令和 6 年) 9 月 20 日(金) 11:00～

場 所：国立新美術館

参加者：五十嵐画伯、鈴木正晃君、高萩良郎君、原 雅英君、添田 稔君、猪狩

始めにお詫びを。

日程の調整不足により本鑑賞会とゴルフ会とが重なってしまい、五十嵐画伯とゴルフ会メンバーに残念な思いをさせてしまった事につきお詫び申し上げます。平成 29 年の第 87 回新制作展に次ぐ 2 度目のミスですが、次回より充分注意致します。

さて、20 日 11 時に国立新美術館正面入り口に集合し、五十嵐画伯の案内で 3 階入り口から入場。

65 歳以上は無料との事、年金暮らしの高齢者にはありがたいシステムです。五十嵐画伯の案内なので年齢証明書の提示も不要でした。

20 近くある部屋のうち 3 号室という入り口近くに置かれたのは絵の評価が高かったからではないかとの声あり。

五十嵐画伯の絵の前に立つと 200 号の大作で毎度の事ながらその迫力に圧倒されます。

人造物（都会のビルディング）、自然（植物）、日常（バラのお店）、そしてモチーフである蜂と蜂の巣等々が五十嵐画伯独特の感覚で配置されています。

人造物と自然の対比もモチーフの一つと感じました。

ひとしきりの鑑賞の後、

制作日数は？

以前は黄色が強調されていたが・・・。

なぜが時計があるのか？

題名の意図は？

参加者のそれぞれの質問・感想を五十嵐画伯に投げかけました。そして、五十嵐画伯の丁寧な対応。作品から少し離れたところで雑談をしていると、若い2人連れが五十嵐作品の前に来て、男性は一眼レフ、女性はスマホで、それぞれ熱心に作品を撮っています。聞けば中国の方とか。作者がそこにいる事を伝えると驚き、五十嵐画伯を挟んで3人で記念撮影をして満足気でした。五十嵐画伯の作品が中国で有名になるかも知れません。

その後、3階と2階で他の作品を見て回りました。

心血を注いだ力作が数多くあり、抽象画も多いのですが、分からないなりに題名から内容を類推します。具象画でも題名と合わないと思われるものもあり、そのミスマッチを楽しみました。

具象画（その1）、題名は“公暁実朝討つ”。

歴史に詳しいメンバーが鎌倉若宮八幡宮の階段前の絵である事を説明。また、同作者の“石橋山の戦い”では引いている弓矢は誰を狙っているのかが話題になりました。

具象画（その2）、題名は“キリスト誕生の時”。

キリスト誕生の小屋は片隅に小さく描かれているのに対し中央に大きく描かれた牛、作者の思惑とは違って、その牛のおいしい食べ方談義で盛り上がりました。

等々、絵を見ながらの雑談をしつつ、広い空間と静寂の中で美術館の雰囲気を楽しみました。

一通り絵を見終わると、後期高齢者の一同、歩き疲れて足や腰に痛みが出てソファベンチで一休み。

その後1階の彫刻展示場へ。

木材、金属、ガラス、プラスチック、石材、ゴム、石膏、その他、ありとあらゆる材質で作られた多くの作品が、仕切りのない広い空間に適度な間隔で配置されています。

大木1本をそのまま炭にしたような大胆な作品もありました。

室外展示場もあり、日時計も置かれていましたが、外は暑い。

本格的にみたら一日掛けても見飽きない程の見所満載の内容ですが、次の祝賀会に向かう時間の都合もあり、千代田線に乗って湯島駅に向かいました。

猛暑日クラスの暑さをかいくぐってレストラン飛鳥に到着。

事前に添田幹事が飛鳥ママに連絡し、準備してしてくれた祝賀会用テーブルに落ち着き、さっそく

連続入選を祝いビールで乾杯をしました。

五十嵐君が画伯を目指すきっかけになったと言われるイラク・イラン戦争の話から始まり、勤めていたイラクの水処理工場がイラク空軍の爆撃を受け、ファントム戦闘機が急降下と急上昇を繰り返す話が大変リアルでした。

海外生活での人種差別の話になり、アトランタ赴任の経験がある鈴木正晃君より、アメリカの人種差別のルーツは、南北戦争後に南部11の州で黒人を知事に任命してそれまでの支配者だった白人を迫害した事にあるとの解説がありました。

また、五十嵐画伯の画学生時代を支えた奥さんがセブン・イレブンを経営していたとの話から、セブン・イレブンの起業経緯やその後の躍進ぶりに話に広がりました。

本日の話題として

(その1)

大谷選手が本日の3本のホームラン10打点の大活躍で51ー51達成の大偉業を果たした。50号ホームランボールが行方不明になっているとの事。

(その2)

二所ノ関部屋（稀勢の里）が筑波大との研究成果として、カロリーをとってから稽古させている。大の里の快進撃の要因か？ その大の里に勝った若隆景は福島出身。昔、いわき市にも時津山という力士がいて全勝優勝も果たした。平一小出身との話も出ました。

(その3)

総裁選では、派閥解消の影響で9人の候補者が出た自民党候補の寸評と立憲民主党では当選一回生の女性候補が話題になりました。

また、本日の参加者の関心事である健康問題では、PSAについて値が4前後でも安定していれば問題無く急上昇した時に気を付ければ良い事を確認しました。

その他、世界情勢（ヨルダンでのポケベル爆発）、世界と日本の経済、雇用問題等々話は尽きませんでした。帰宅時間も近づいた為、午後4時に、来年の連続入選回数更新を願って散会となりました。

以上